

レイヤード シルドア  
**LAYERED / SHILDOR**

---

**取付・取扱説明書**

---

商品施工に関しては、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき正しい施工とご使用をお願いいたします。

**施工上の注意事項**

**!** 施工上の  
ご注意

- 施工時に使用する接着剤は適応した市販の接着剤（無溶剤・弾性タイプ）を別途お買い求めください。
- 塗装部分に関しては、金属に焼付塗装を施しております。摩擦や引っ掻き等により塗装部分が傷つくことがありますので、取り扱いにはご注意ください。環境条件によっては、塗装部分に変色・シミ・錆等が生じることがあります。
- 金属の切断面には十分ご注意ください。安全に配慮した処理を施しておりますが、ケガをする場合があります。取り付けをする際は保護用手袋を着用し、注意して作業を行ってください。
- 指定の部品およびオプション品以外は使用しないでください。
- ステンレスは錆に強い金属ですが、絶対に錆びない素材ではありません。特に塩害環境に厳しい地域では錆びやすくなりますので、取付環境には十分ご注意ください。
- 施工に関しましては、専門の工場業者様へご依頼ください。
- この商品は壁面より手前に突き出ますので、お子様がぶつかる危険の無いようご注意ください。
- 取り付け面の凸凹が大きい場合は、平らに補正してください。凹凸が大きいと落下の原因となります。
- お客様が施工中に破損されたブロック、本商品につきましては、お取り替え等は出来ませんのでご了承ください。
- 施工時に製品の表面に付いたモルタル等は速やかに清掃してください。
- 製品表面にキズを付けますと腐食の原因となりますので、取扱には十分注意してください。
- 施工後に取付け具合をもう一度確認してください。
- 作業終了後の商品に、キズ・ヘコミ等がないか確認してください。
- 分解・改造・用途以外の使用は絶対にしないでください。ケガ・事故の原因となります。

**!** 使用上の  
ご注意

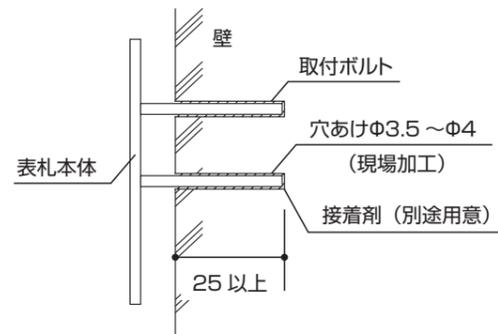
- この商品は無理な荷重・衝撃・落下により破損する可能性がありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 本来の目的以外での使用はしないでください。
- 製品の切断面は安全に配慮した処理を施してありますが、ケガをする場合がありますので十分ご注意ください。
- 火気を近づけないでください。変色・塗装剥がれの原因となります。
- 商品を廃棄される場合はお住まいの地域の取り決めに基づいた処理をお願いします。

## ■ レイヤード

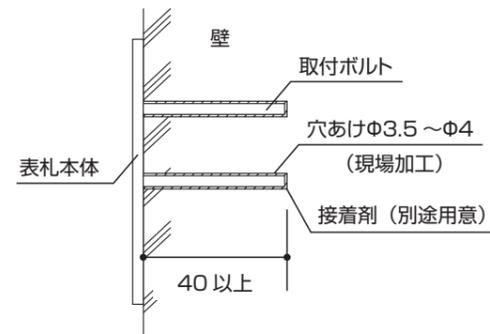
※文字によってボルト位置が変わります。

※付属の施工型紙で施工位置を確認してから穴あけを行なってください。

### 表札本体を壁面から浮かせる場合



### 表札の取付ボルトを全て埋め込む場合



## 施工手順

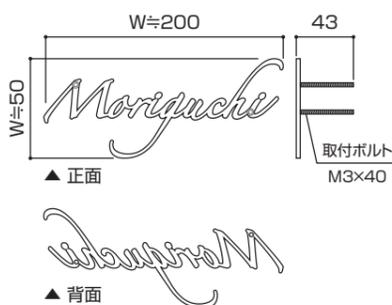
- 表札を取り付ける際は、取り付け面のゴミ、錆、油分等の汚れを十分取り除き、よく乾燥させてください。
- 表札が傾かないよう取り付け位置に水平にあてがうか、施工型紙を使用してボルト位置をペン等で壁面にマークします。
- 取り付け位置にドリルで垂直に穴を開け、穴のゴミを十分取り除いてください。  
穴の深さは 25 mm 以上あけてください。
- 壁面の穴に接着剤を充填し、表札の取り付けボルト部を差し込んでください。  
接着剤は別途ご購入ください。使用方法は、接着剤の説明書をよくお読みください。
- 表札貼り付け後、接着剤が完全に硬化するまでの間は、養生テープなどに必ず 24 時間以上動かないように固定してください。  
固定が不完全ですと、位置ズレ・落下破損の原因になりますので、十分ご注意ください。  
また、塗装部分に直接養生テープなどを貼らないでください。塗装剥がれの原因となります。

No	同梱部品	数量	単位
1	本体 <i>Moriguchi</i>	1	セット
2	施工型紙	1	枚

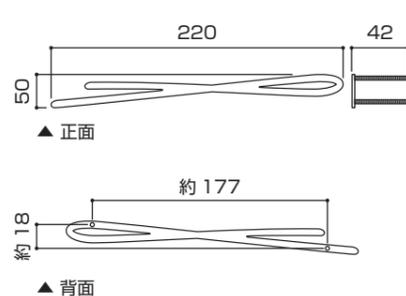


## ■ 寸法図

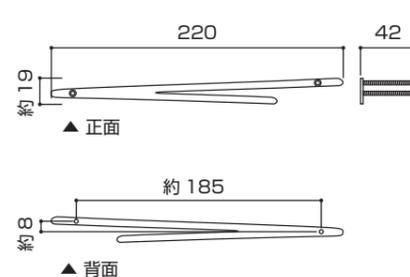
### ■ 表札 ※寸法は文字・文字数により異なる



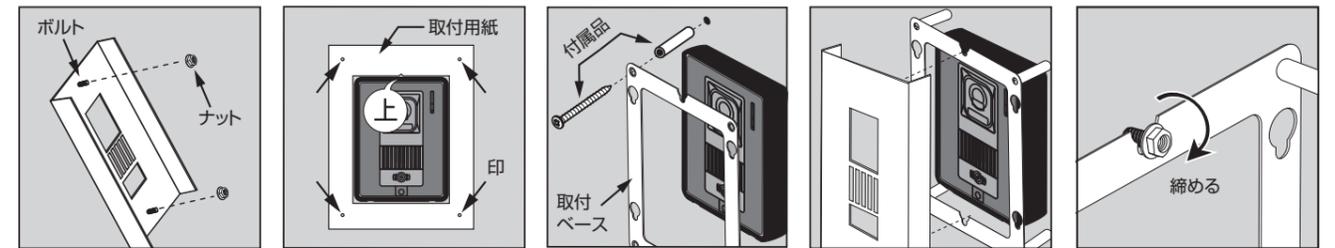
### ■ デザインパーツ A



### ■ デザインパーツ B



## ■ シルドア



本体裏面にあるボルトに  
ナットを取り付ける

取付用紙を使って取り付け  
位置に印を付ける

付属品を使って取付ベース  
を壁面に取り付ける

本体を取付ベースに  
引っ掛ける

ナットを締めて固定する

## 施工手順

- インターホンカバーを取り付ける際は、取り付け面のゴミ、錆、油分等の汚れを十分取り除き、よく乾燥させてください。
- 本体裏面のボルト 2 箇所に付属のナットを 2 ~ 3 回転ねじ込んでください。  
その際に、ナットのフラット面が商品裏面にくるようにしてください。ナットをボルト奥までねじ込むと商品本体がはまらないため、出来るだけ浅く取り付けてください。
- インターホン子機に合わせて取付用紙を壁面にあてがい、取付用紙に開いている四隅の抜き穴にペンなどで印をつけます。用紙の開口部についている三角形の切り込みが上になるようにセットしてください。(図 1 参照)
- 取り付け位置にドリルで垂直に穴を開け、穴のゴミを十分取り除いてください。  
穴の深さは 30 mm 以上あけてください。穴は壁面に対して必ず垂直になるようにしてください。穴がゆがむと商品本体がうまく組み付けられない場合があります。
- 壁面の穴に接着剤を充填し、付属のプラグを奥まで差し込みます。接着剤は別途ご購入ください。使用方法は、接着剤の説明書をよくお読みください。
- タッピングビスに取付ベース・スペーサーを通し、壁面のプラグにドライバーでねじ込みます。タッピングビスの締め忘れやゆるみがあると、本体が外れてしまう恐れがあります。組み付け時は確認をしてください。
- 裏面にナットを付けておいた本体を、取付ベース上下にある切り欠きに引っ掛けます。取付ベースの上下方向、裏表を間違えないようご注意ください。(図 2 参照)
- 浅く取り付けしていたナットをスパナで締め込みます。ナットは固く締め込みすぎないでください。ボルトのねじれにより本体が変形する場合がございますのでご注意ください。(図 3 参照)



▲ 図 1



▲ 図 2



▲ 図 3

⚠ 付属のタッピングビス・プラグが壁面の素材に合わない場合や特殊な取り付けをされる場合は、専門店でご適切なものをお買い求めください。

No	同梱部品	数量	単位
1	本体	1	セット
2	取付ベース	1	点
3	取付用紙	1	枚
4	ナット M4	2	本
5	プラグ	4	本
6	スペーサー (※1)	4	本
7	タッピングビス (※2)	4	本

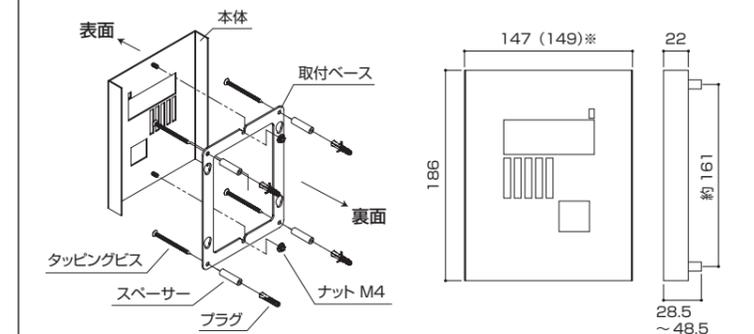
(※1) …インターホン子機のサイズにより長さ・個数が異なります。

(※2) …インターホン子機のサイズにより長さが異なります。

## ■ 寸法図

### ■ インターホンカバー

※( )内はサイドプレート付きの場合の寸法



- インターホンは厚さ約 20 ~ 45 mm に対応しています。
- インターホン機種により、切り抜き形状がかわります。
- 上記図参考子機：パナソニック WQD872B (子機厚み：29.5mm)